PRESS RELEASE　報道機関配布資料　高崎市 TAKASAKI CITY

令和８年４月１０日

件名　多胡碑の環境美化活動について

令和８年４月２６日（日）多胡碑記念館開館３０周年を記念して、上野三碑特別公開が開催されます。これに先立って、同年４月１６日（木）に「多胡碑記念館初代館長」久保信太郎氏を迎えて、多胡碑周辺の環境美化活動を行います。

１　上野三碑ボランティア会 環境美化活動「多胡碑記念館初代館長を迎えて」

（１）日　時　令和８（2026）年４月１６日（木）午前９時～午前１０時
冒頭１０分ほど　「多胡碑記念館初代館長」久保信太郎氏（９７歳）から３０年前のお話をいただきます。

（２）場　所　特別史跡「多胡碑」史跡地、いしぶみの里公園
多胡碑記念館（高崎市吉井町池１０８５）正面玄関集合

（３）参加者　上野三碑ボランティア会会員
高崎市教育委員会文化財保護課職員

（４）内　容　「多胡碑記念館初代館長」久保信太郎氏を招いて、多胡碑周辺の環境美化活動を行います。
久保信太郎氏は、今から３０年前の平成８（1996）年４月に開館した多胡碑記念館の初代館長として、館の運営・整備にたずさわり、平成２９（2017）年の上野三碑のユネスコ「世界の記憶」登録に尽力されました。

（５）その他　多胡碑記念館開館３０周年記念「上野三碑特別公開」
令和８（2026）年４月２６日（日）午前９時～午後３時

【本件に関する問い合わせ】
教育部　文化財保護課　多胡碑記念館
電話：027-387-4928

交通・利用案内
Access & Admission



- 上信電鉄高崎駅(JR高崎駅)から車で約15分
- 上信電鉄吉井駅から車で約5分、徒歩で約30分
  よしいバスで約10分(東谷・西吉井線「多胡碑記念館前」下車)
  上野三碑めぐりバス(無料)も運行しています。
  運行時間やルートは多胡碑記念館のホームページをご覧ください。
- 上信越自動車道　吉井I.Cから車で約7分

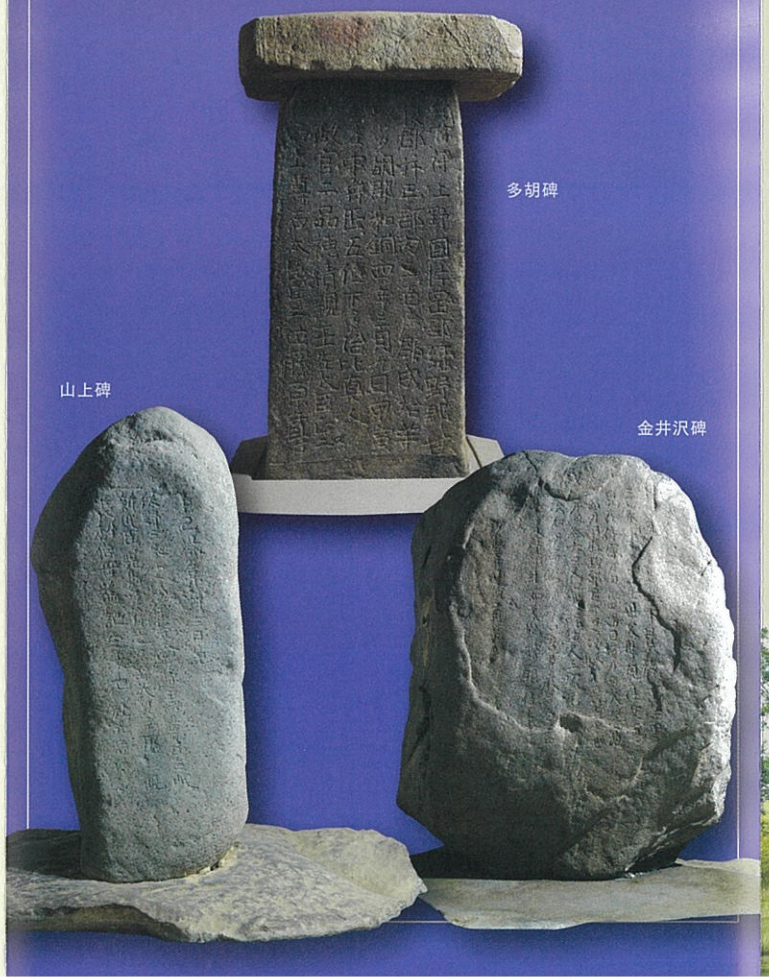
開館時間　9:30～17:00(入館は16:30まで)
休 館 日　月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)
　　年末年始(12月28日～1月4日)
観 覧 料　一般 200円(160円)、大学生 100円(80円)
　　( )内は20人以上の団体割引料金
　　高校生以下・65歳以上 無料
　　身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方および付き添いの方1名は無料
　　※団体での見学は事前にご連絡ください。

多胡碑記念館
〒370-2107 群馬県高崎市吉井町池1085
TEL 027-387-4928　FAX 027-387-8726

2025年発行

ユネスコ「世界の記憶」
上野三碑ガイダンス施設

高崎市
多胡碑記念館
Tago Stela Museum




上野三碑のへや
(碑は複製・原寸大)

1300年の歴史をつなぐ

多胡碑記念館は、日本三古碑・上野三碑の一つである多胡碑の歴史的意義を発信するため、1996年(平成8)4月、多野郡吉井町に開館しました。

2009年(平成21)6月、高崎市・吉井町の合併により、古代多胡郡に位置した山上碑・多胡碑・金井沢碑が、一つの行政区域内に所在することとなりました。そして、およそ1300年の間、地域の人々に守られてきた上野三碑は、2017年(平成29)10月に、ユネスコの「世界の記憶」に登録(国際登録)されました。

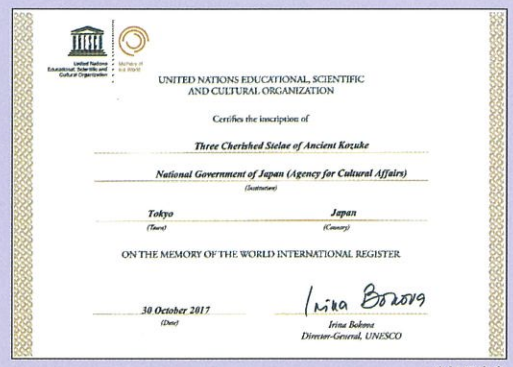
館内では、世界の古代文字の体系や漢字の歴史、上野三碑を含む日本の古代碑の複製品や周辺の遺跡から出土した考古資料などを展示し、三碑と古代多胡郡について解説しています。



「世界の記憶」 Memory of the World

世界的に重要な記録物の保存活用を促進するために、ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）が認定します。「世界遺産」「無形文化遺産」と並ぶ三大遺産事業のひとつとされています。

上野三碑は、東アジアにおける人と文化の交流、それによる新たな地域社会形成の実像を明らかにした原資料として評価されました。


UNITED NATIONS EDUCATIONAL, SCIENTIFIC AND CULTURAL ORGANIZATION

Certifies the inscription of

Three Cherished Stelae of Ancient Kozuke

National Government of Japan (Agency for Cultural Affairs)

Tokyo (Town) *Japan* (Country)

ON THE MEMORY OF THE WORLD INTERNATIONAL REGISTER

30 October 2017 (Date)

Irina Bokova
Director-General, UNESCO

登録認定書

多胡郡正倉跡 Historical Sites of Tago County

郡の役所を構成する正倉（税として集めた稲を保管する倉庫で、最も格式の高い正倉を法倉と呼ぶ）の発見により、多胡郡建郡は、文献史料-石碑-遺跡の3つの資料が残る日本古代史上唯一の事例となりました。2020年（令和2）3月に国史跡に指定された「上野国多胡郡正倉跡」の発掘資料の一部は、2階「多胡郡衙のへや」で常設展示しています。


多胡郡正倉跡想像画（2016年制作）

周辺案内図 Map

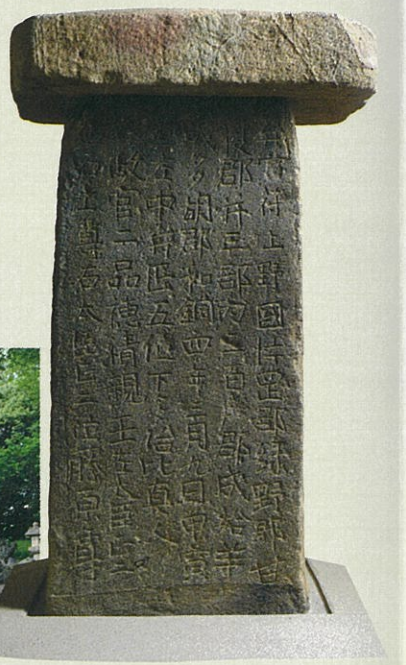


案内板（法倉跡）

特別史跡 Tago Stela

多胡碑（吉井町池）

711年（和銅4）の多胡郡設置を伝え、国の歴史書『続日本紀』と一致する内容を刻む。大陸伝来の書風を残し、書道史上の評価も高い。




多胡碑覆屋

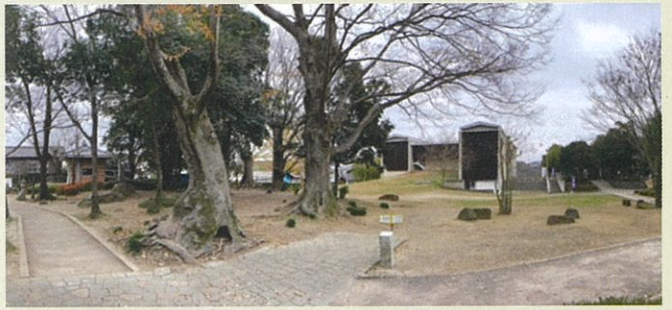
特別史跡 Kanaizawa Stela

金井沢碑（山名町）

726年（神亀3）建立。先祖を供養し、一族の繁栄を祈る。当時の家族、仏教思想や行政制度の普及の様子が分かる。碑文中の「羣馬」は、県内最古の「群馬」の用例である。




金井沢碑覆屋


「多胡碑」史跡地　　多胡碑記念館　吉井いしぶみの里公園

上野三碑の現地では、ボランティアが環境美化や案内・解説にあたっています。
※活動日については、当館までお問い合わせください。